

第287回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和5年4月17日（月） 11:00～12:00

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
渡辺 裕介 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2023年3月30日に放送した番組、「上鈴木兄弟の『たのしいことばかりありますように』」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者： 2022年10月からスタートした、宇都宮出身の双子のラップユニット「P. O. P (読み：ピー・オー・ピー)」の上鈴木兄弟による30分の録音番組になります。
栃木の魅力や宇都宮の魅力を発掘、発信したいと飾らないトークで楽しく展開しています。
今回は、3月30日（木）の放送分を試聴していただきます。
以前の放送回でスーパーマーケット『かましん』への愛情を語った結果、当該スーパーからの「公認」を得られたことに触れているほか、リスナーからの人生相談に答えています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員： トークのテンポが速すぎる印象で、聞き取れない部分もあった。内容については若年層リスナーを対象とした深夜番組向けだと感じた。双子の兄弟が互いにお題について回答する「せーの！」のコーナーは、声が重なっていて、なんと言ったか分からないまま進行してしまったので、工夫してほしい。

委員： 「そのアーティストのファンが好んで聞く番組」という位置づけなのかもしれないが、公共の電波での放送なので、ファン以外を楽しませる姿勢をあまり感じられなかった。リスナーからのメッセージで離婚についての相談を扱っており、離婚経験者の兄が離婚を奨励していたが、それぞれの事情はさまざまなので、他者が離婚を勧めるものでもないのではないか。

委員： 各所に栃木ならではのローカルなキーワードが出てくるのは面白みと親しみを感じた。その一方で、話に安直さが目立ってしまい「大味な番組」という印象だった。今回は即興ラップが無かったようだが、その部分も聞いてみたかった。

委員： 一部、BGMのボリュームが大きく、聞き取りにくいところがあった。スーパーマーケットの「かましん」への愛情が伝わったが、栃木県の北部には店舗が無いため、今回のようなトークではイメージが湧かない人もいるのではないかな？

委員： ラッパーは「現代の詩人」であり、落語家のように言葉遣いも多彩で面白い。年長者からは行儀が悪いという反応もあるかもしれないが、地方でラップの文化が根付くか試されている番組だと感じた。放送局にはこういったアーティストを見守り、上手に育ててほしい。

(以上)

(2) その他

地方ラジオ局を舞台とするテレビドラマ「波よ聞いてくれ」(テレビ朝日)のロケにエフエム栃木のスタジオや会議室等を貸与している旨を報告。

(3) 次回開催日程について

次回の開催を5月22日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 4月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし